

1-2 伊豆衝突帯の地震活動調査によるプレート構造調査研究

(1) 平成 20 年度の成果

- ・当所担当の神奈川県内(相模原市)の 5 箇所予定点を設置工事中である (図 1)。
- ・伊豆衝突帯(神奈川県西部地域)に臨時観測点を 10 点配置し、衝突帯におけるトモグラフィ解析の補強データを解析中である。
- ・伊豆衝突帯(神奈川県全域)における地震活動や発振機構から求めた応力区分を推定した。
- ・地域行政担当者や神奈川県民への普及活動をおこなった。

(2) 平成 21 年度の実施計画

- ・地震研と調整上、当所は神奈川県内に 4 箇所する予定である (図 1)。

(3) 平成 22 年度～23 年度の実施計画 (業務計画書記載に変更無し)

平成 22 年度：高精度震源分布、応力分布、速度構造や S 波スプリッティングなどの解析結果に基づき伊豆衝突帯周辺域の構造モデルを構築する。

平成 23 年度：高精度震源分布、応力分布、速度構造や S 波スプリッティングに基づき伊豆衝突帯周辺域の構造モデルを構築する。

